

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
車両運搬具、什器備品・・・定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	479,878,024	7,399	0	479,885,423
定期預金	23,232,006	0	0	23,232,006
小 計	503,110,030	7,399	0	503,117,429
特定資産				
公益事業運営対策積立資産	3,207,836	0	3,207,836	0
小 計	3,207,836	0	3,207,836	0
合 計	506,317,866	7,399	3,207,836	503,117,429

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味 財産からの充当 額）	（うち一般正味 財産からの充当 額）	（うち負債に対応 する額）
基本財産				
投資有価証券	479,885,423	(479,885,423)	(0)	—
定期預金	23,232,006	(23,232,006)	(0)	—
合 計	503,117,429	(503,117,429)	(0)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,365,470	1,365,469	1

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
福岡市公募公債 2019年第3回	100,000,000	80,530,000	△ 19,470,000
第174回利付国債	79,885,423	63,336,000	△ 16,549,423
千葉県公募公債 第31回	100,000,000	76,070,000	△ 23,930,000
第95回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	75,660,000	△ 24,340,000
神奈川県第52回公募公債	100,000,000	83,844,400	△ 16,155,600
合 計	479,885,423	379,440,400	△ 100,445,023

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の 名称	交付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
区補助金	杉並 区	654,918	16,225,000	15,630,205	1,249,713	流動負債
区障害者通所 施設サービス 推進事業補助 金	杉並 区	614,000	2,480,000	2,924,000	170,000	流動負債
区障害福祉 サービス事業 所交通費等補 助金	杉並 区	△ 154,000	681,910	681,480	△ 153,570	流動資産
区障害者施設 等物価高騰対 策臨時給付金	杉並 区	△ 19,500	19,500	0	0	—
都非常用電源 等整備促進事 業補助金	東京 都	0	0	180,000	△ 180,000	流動資産
都障害者施設 等物価高騰緊 急対策支援金	東京 都	△ 93,680	93,680	94,520	△ 94,520	流動資産
合 計		1,001,738	19,500,090	19,510,205	991,623	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 目的達成による指定解除（基本財産受取利息）	2,847,401